

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成24年9月6日(2012.9.6)

【公開番号】特開2011-61501(P2011-61501A)

【公開日】平成23年3月24日(2011.3.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-012

【出願番号】特願2009-209039(P2009-209039)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/66 (2006.01)

G 0 9 G 5/36 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/66 D

G 0 9 G 5/36 5 2 0 F

G 0 9 G 3/20 6 6 0 C

G 0 9 G 3/20 6 3 2 F

G 0 9 G 3/20 6 3 1 H

G 0 9 G 5/36 5 2 0 A

G 0 9 G 3/20 6 5 0 C

G 0 9 G 3/20 6 4 2 J

G 0 9 G 3/20 6 4 1 P

G 0 9 G 5/00 5 2 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月23日(2012.7.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

【図 1】画像信号処理装置を有した画像表示装置の構成を示す図である。

【図 2】入力画像を示す図である。

【図 3】画像信号処理装置の構成を示す図である。

【図 4】多階調化処理部の構成を示す図である。

【図 5】多階調化処理を説明するための図である。

【図 6】パターンデータ出力部を説明するための図である。

【図 7】画像信号処理装置の動作（ 1 / 2 ）を示すフローチャートである。

【図 8】画像信号処理装置の動作（ 2 / 2 ）を示すフローチャートである。

【図 9】多階調化処理部の動作を説明するための示す図である。

【図 10】画像信号処理装置の動作を説明するための示す図である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

以下、発明を実施するための形態について説明する。なお、説明は以下の順序で行う。

1. 画像信号処理装置を有した画像表示装置の構成

2. 画像信号処理装置の動作

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0052

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0052】

< 2. 画像信号処理装置の動作 >

次に、画像信号処理装置の動作について説明する。図7、図8は、画像信号処理装置における多階調化処理部22の動作を示すフローチャートである。なお、以下の説明は、画像信号処理装置20-LUにおける多階調化処理部の動作についての説明である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0072

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0072】

入力画像の画像信号DVaがライン毎に記憶されるラインメモリ21bからは、水平方向の画素数が2倍となるように、画像信号の読み出しを行う。クロック信号CLKは、例えば入力画像の画像信号DVaの画素タイミングを示すクロック信号CLKの4倍の周波数とされている。このクロック信号CLKに同期してラインメモリ21bから画像信号を画素毎に2回繰り返して読み出すことで、水平方向の画素数が2倍とされた画像信号を生成する。また、クロック信号CLKの1/2の周波数でラインメモリ21bから画素信号を順次読み出して、多階調化処理部22は、クロック信号CLKに同期してパターンデータの出力を行い、水平方向の画素数が2倍とされた画像信号DVdを生成してもよい。なお、図9の(B)は、クロック信号CLKの1/2の周波数でラインメモリ21bから画像信号を画素毎に順次読み出した場合を示している。